

コールマン製品保証書

Model 205588

お客様	ご芳名	様 TEL.		
	ご住所			
取扱販売店	店名・住所・電話番号			
保証期間	お買上げ日	年	月	日より 1年間

本書は、本書記載内容にそって無料修理をお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品に本書を添え、お買上げの販売店にご依頼ください。お買上げ年月日、販売店名などの記入もれがありますと無効になります。必ずご確認ください、記入のない場合は、お買上げの販売店にお申し出ください。また、お買上げいただいた時のレシート、領収書を添付して保管ください。ご転居、ご贈呈などでお買上げの販売店に修理依頼できない場合は、最寄りのコールマン製品取扱店にご依頼ください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

- 取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買上げの販売店、または当社が無料修理いたします。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 本書のご提示がない場合。
 - (ロ) 本書に、お買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障、損傷。
 - (ニ) お買上げ後に、落とされた場合等による故障、損傷。
 - (ホ) 火災、公害および地震、風水害、塩害その他天災地変等、外部に要因がある故障、損傷。
 - (ヘ) 指定外の燃料使用による故障、損傷。
 - (ト) グローブ等の消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- 保証期間経過後の有料修理は、お客様のご希望により、お買上げの販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

お買上げレシート添付場所



LUMIERE LANTERNE

ルミエール ランタン
Model 205586

取扱説明書 保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。

もくじ

警告	1
注意	2
注意、各部の名称	3
点火の準備、点火の方法	4
光量調節と消火、収納 グローブの取替え方法	5
仕様、日常の点検・お手入れ・保管 故障・異常の見分け方と処置の方法	6
保証書	7



このたびは、ルミエールランタンをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい方法でご使用ください。お読みになったあとも、この取扱説明書及び保証書を大切に保管してください。修理・補償を受ける際に必要になります。*改良のため仕様および外観を予告なく変更することがあります。

屋外専用 室内・テント内・車内使用禁止

製品を正しくお使いいただくため及び、あなたや他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。

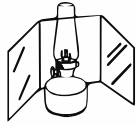


警告 安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ(容器)の取扱について

1. 以下のような使い方は厳禁！ ガスカートリッジ(容器)が加熱し爆発の原因となります。

● 風防、鉄板や岩などで囲うような使用



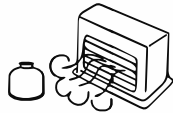
● 他のコンロ・火気・焚火のそばでの使用



● その他、ガスカートリッジ(容器)が過熱するような場所

2. ガスカートリッジ(容器)は熱気のある所に放置しないでください。

● ガスカートリッジ(容器)はファンヒーターの前など熱気のある場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。



3. ガスカートリッジ(容器)を火中に投じないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。



4. ガスカートリッジ(容器)は火気の近くや直射日光(室内や車内の窓際など)の当たる場所等40℃以上になる場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。



5. ガスカートリッジ(容器)は風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に容器キャップをはめて保管してください。また器具使用後は必ずガスカートリッジ(容器)を取り外して別々に保管してください。



6. 使用済みのガスカートリッジ(容器)の処理について
使用済みのガスカートリッジ(容器)は、キャンプ場等に放置せず持ち帰り、下記の要領に従って処分してください。

● ガスカートリッジ(容器)は完全に使い終わってから、他のゴミと区分して捨ててください。



● ガスカートリッジ(容器)にまだガスが残っている場合は、使い切ってから捨ててください。ガスカートリッジ(容器)を振ってサラサラと音のする場合には、まだガスが残っています。そのまま温度の高い所に放置したり、火中に投入すると爆発し危険です。



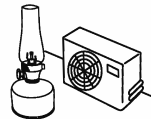
使用場所の注意

1. 屋外専用です。使用中は多量の酸素を消費しますので、窒息や中毒を起こす恐れがあります。その為、家の中、テントの中、車の中もしくは換気の不十分な場所では絶対に使用しないでください。一酸化炭素(CO)中毒により、最悪の場合には、死亡事故につながります。



2. 使用中は多量の酸素を消費します。換気には充分注意してください。

3. エアコンの室外機の吸い込み口付近では使用しないでください。燃焼の妨げになります



4. 風の強い所での使用は避けてください。風で火が吹き消される事があり危険です。



5. 設置面が安定していて、水平な所に置いてご使用ください。斜めに置くとランタンが倒れる恐れがあります。



注意 安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ(容器)の取扱について

1. ガスカートリッジ(容器)に表示してある注意事項を良く読んでからご使用ください。



● 保管してあるガスカートリッジ(容器)はときどき点検してさびが発生している場合には、できるだけ早く使用してください。



● ガスカートリッジ(容器)にLPガスの再充填はできません。



2. ガスカートリッジ(容器)のガスを故意に吸い込むことは禁止。酸欠の原因となります。



3. ガスカートリッジ(容器)に強い衝撃を与えないでください。変形するとランタンにセットできなったりガス漏れの原因となります。



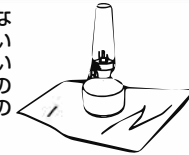
ガスカートリッジ(容器)はコールマン社製の純正LPガス燃料5103A230Tまたは5103A470Tをご使用ください。

コールマン製品ではガス燃焼器具とガスカートリッジ(容器)を一体化した状態で設計、品質管理を行なっています。性能・安全を維持する為にも、コールマン純正LPガスカートリッジ(容器)をご使用ください。

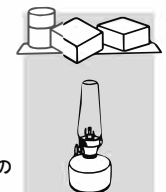


火災予防の注意

1. ランタンの下にダンボール紙など燃えやすいものや熱に弱いもの(ビニールクロス)を敷いたり通気のためだけに通気孔を置かないでください。火災の原因となります。



2. 上から物が落ちる恐れのある場所等で使用しないでください。火災の原因となります。

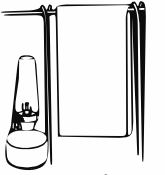


物が落ちる恐れのある場所

3. 点灯したままの持ち運びは禁止。転倒するとやけどや火災の原因となります。



4. 燃えやすい物からは上部1.2m、周囲は50cm以上離れてご使用ください。特にテント、タープ、スリーピングバッグ、干してある洋服等の近くでは使用しないでください。



5. 火をつけたまま器具の使用場所を離れたり就寝しないでください。火災など思わぬ事故の原因となります。



6. ランタンを使用中、近くに予備のガスカートリッジ(容器)やヘアスプレーなどを放置しないでください。熱でスプレー缶等の圧力が上がり爆発の原因となります。



7. ヘアスプレーなど、引火のおそれのあるものを近くで使用しないでください。火災の原因となります。



ガス事故防止

1. ガスカートリッジ(容器)がセットされていて、着火していないのに器具栓ツツミが右(-)方向に回らない状態以外の位置にあると、ガス漏れを起こし危険です。充分にご注意ください。



2. ガスカートリッジ(容器)は正しく装着してください。

● ガスカートリッジ(容器)を正しくセットしないと、ガスが漏れて火災の原因となります。詳しくは「点火の準備」を確認してください。



● ガスカートリッジ(容器)の取り付け、取り外しの際には少量のガスが漏れます。周囲に使用中の燃焼器具や火の気がないことを確認してから行ってください。



⚠️ 注意 安全のために必ずお守りください。

3.使用中、玉ねぎの腐ったようなにおいがしたら、ガス漏れを起こしています。すぐに換気を充分にしてください。LPガスは比重が重く下部にたまります。ガス漏れに気付いたときは、絶対に火をつけたり電気製品のスイッチを入れたり、火気の使用をしないでください。引火による爆発の恐れがあります。

●使用をやめガスカートリッジ(容器)をはずしてください。

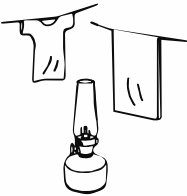


4.使用時の点火・使用後の消火のほか、使用中も時々、正常に燃焼していることを確認してください。



使用上の注意

1.ランタンを衣類の乾燥やストーブのかわりなど照明以外の用途に使用しないでください。衣類が落下するなど火災の原因となります。



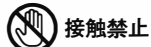
2.使用中や使用直後は、本体・ガラスグローブ等は高温になっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。後片づけをする場合は、器具が完全に冷えてから行ってください。



3.使用の際は特にお子様に注意してください。器具を保管する場合も幼児・子供等の手の届かない所に保管してください。



4.点火するときは顔や手をランタン付近に近づけないでください。



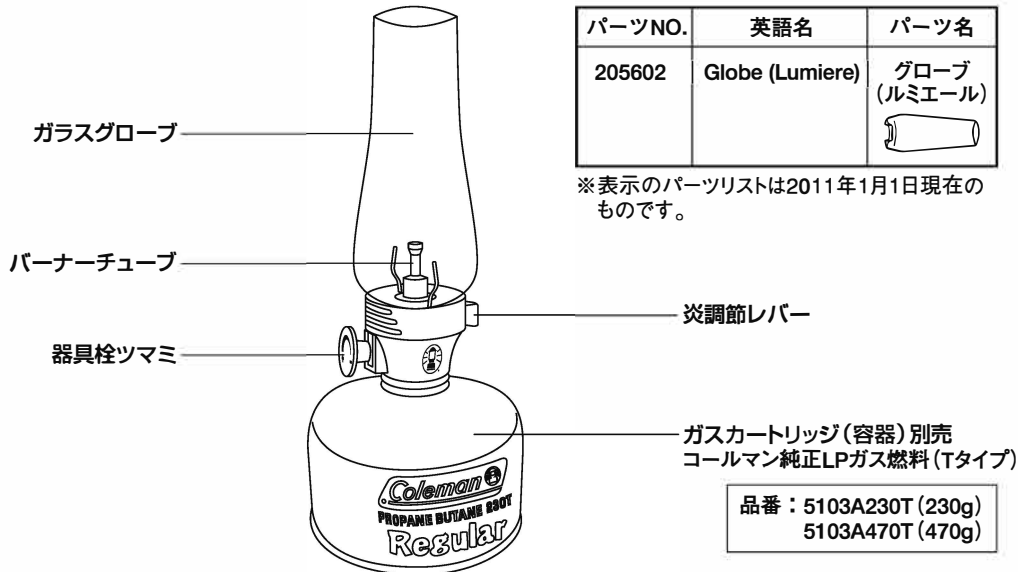
5.万一異常音、異常臭、赤火など起こした時や緊急の場合は、あわてず器具栓ツマミを右(-)方向に回して消火し、ガスカートリッジ(容器)を本体から取りはずしてください。



6.「故障・異常の見分け方と処置の方法」を参照し指示に従ってください。



各部の名称



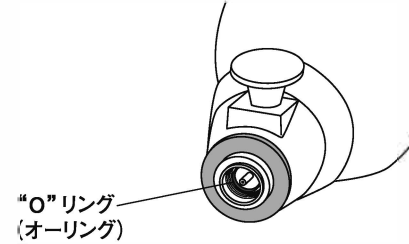
点火の準備 ⚠️ 屋外の火の気のない所で行ってください。

ガスカートリッジ(容器)はコールマン社製の純正LPガス燃料 5103A230Tまたは5103A470Tをご使用ください。

1.プラスチックケースからランタン本体を取り出し、

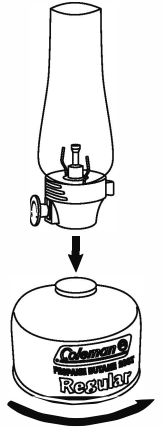
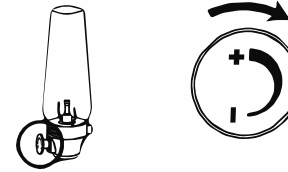
4.ガスカートリッジ(容器)を水平にして、接合部に対して垂直に取り付け、反時計回りに完全に止まるまで確実にねじ込んでください。

2.本体下部のガスカートリッジ接合部にある“O”リングに損傷がないことを確認してください。



“O”リング (オーリング)

3.器具栓ツマミが右(-)方向に止まるまで回っていることを確認してください。

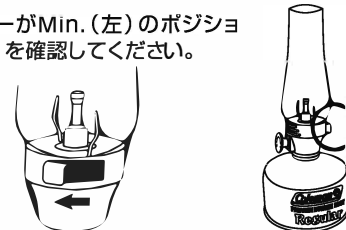


⚠️ 注意

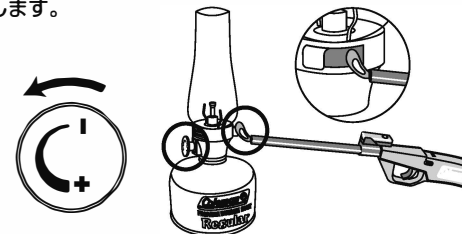
- ガスカートリッジ(容器)を取り付ける際は、無理矢理押し込んだり、斜めに押し込んだりすると接合部を損傷する恐れがあります。
- ガスカートリッジ(容器)を斜めに傾けて取り付けると液状のガスが噴出して危険です。必ずカートリッジ(容器)を水平にして取り付けてください。
- ガスカートリッジ(容器)取り付け時、若干のガスが漏れますので、必ず周囲に火気がないことを確認してください。
- ガスカートリッジ(容器)のふたは捨てずに保管してください。ガスを使い切らなかった場合、保管につかいます。

点火の方法 ⚠️ 必ず、屋外の火の気のない所で操作してください。

1.炎調節レバーがMin.(左)のポジションにあることを確認してください。



2.柄の長いライター等の火を炎調節レバーの穴に持っていき、器具栓ツマミを左(+)方向に回してガスを出し、点火します。

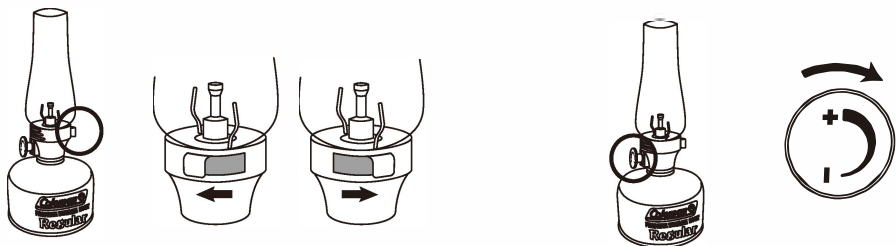


⚠️ 点火時の注意

- 炎は上にかかるので、点火操作をするときは、器具の上にかがみこまないでください。
- 一度で点火しない場合は、左記点火作業を繰り返し確実に着火したことを確認してください。点火作業を再度行う際は、数分おいてから行ってください。すぐ点火作業を行うと、グローブ内にガスが充満しており、危険です。
- 点火操作は、本体を水平な場所に置いて行ってください。
- 本体を傾けて点火しないでください。
- 冷えたガスカートリッジ(容器)は使用しないでください。

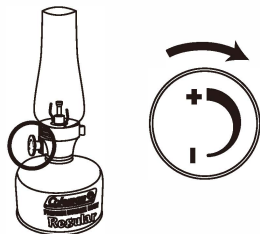
光量調節と消火 ❶ 必ず、屋外の火の気のない所で操作してください。

光量は、炎調節レバーを右に押すと炎が高くなり、消火は、器具栓ツマミを右（-）方向に止まるまで左に押すと低くなることで調節できます。 消火は、器具栓ツマミを右（-）方向に止まるまで回してください。



収納 ❷ 必ず本体が完全に冷えてから作業を行ってください。

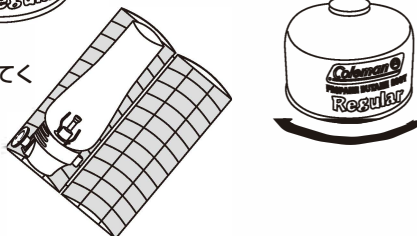
1. 器具栓ツマミが右（-）方向に止まるまで回っていることを確認してください。



2. ガスカートリッジ（容器）を水平にして、本体を左に回して取り外してください。ガスカートリッジ（容器）は側面に書いてある注意を参考に低温・低湿の場所にキャップをして保管してください。



3. ランタン本体は、プラスチックケースに入れ保管してください。

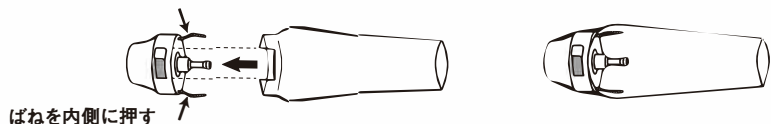


グローブの取替え方法

1. 取り外し時は、ランタン本体部分をもち、グローブをすこしずつはずしていきます。いきなりひっぱって外すと、グローブを支えているばねが跳ねて、グローブを破損する恐れがありますので注意してください。



2. 取り付け時は、ばねを内側に押しおさえながら、グローブの下部の切れ目のある場所を炎調節レバー部分に合わせ、ゆっくりと差し込みます。いきなり押し込んだりすると、ばね部分が跳ねて、グローブを破損する恐れがありますので注意してください。



日常の点検・お手入れ・保管

- ご使用後はそのつどお手入れをしてください。
- 点検、お手入れの際は、必ずガスカートリッジ（容器）を取り外して、ランタンが充分冷えてから行ってください。
- 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。ご家庭での修理は危険ですので、お買い求めの販売店までご連絡ください。

点検とお手入れのポイント

- 本体 ●台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）をしみこませた布で汚れを充分にとった後、お湯でしぼったきれいな布でもう一度ふいてください。
※シンナー、ベンジン、みがき粉、ナイロンタワシ、金属製のタワシなど、傷がつきやすいものは使用しないでください。
※本体の丸洗いは絶対にしないでください。
- ガラスグローブ ●ガラス用クリーナーを使って汚れをふきとった後、乾いた布でもう一度ふいてください。
※ガラスグローブは割れやすいので取扱いには充分注意してください。

長時間使用しないとき

1. 必ずガスカートリッジ（容器）をランタンから取り外し、器具栓ツマミを右（-）の方向に止まるまで回してください。
 2. グローブ、本体などが汚れていないか、よく乾いているかを確認してください。
 3. ランタンの各部が充分冷えてから、本体をプラスチックケースに収納し、湿気の少ない所に保管してください。
 4. グローブはガラス製です。保管には充分ご注意ください。
 5. ガスカートリッジ（容器）は、容器キャップをつけ、風通しのよい、湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
 6. 幼児、子供の手の届かない所に保管してください。
- ※長時間ガスカートリッジ（容器）を保管していたり、保管状態が悪いとサビが発生し、ガスもれの原因となることがあります。ときどき点検してください。ガスカートリッジ（容器）は古いものから使用し、早めに使いきってください。

仕様

品名	ルミエールランタン
型式	205588
外形寸法（本体のみ）	約7.3×6×18.3（H）cm
重量	約210g（本体のみ）
使用ガスカートリッジ（容器）	コールマン Tタイプ専用容器（5103A230T / 5103A470T）
ガス消費量	約8g/h（レギュラーガス・最大出力時）

故障・異常の見分け方と処置の方法

現象	原因	専用ガスカートリッジ（容器）を使用していない。	点火操作が不適切。	器具栓の故障。
ガスカートリッジ（容器）が取り付けられない。		○		
点火しない（しにくい）。			○	
炎が安定しない。				○
火力が弱い。				○
消火しない。				○
処置方法		コールマンTタイプ専用容器を使用する。	取扱説明書を読んでから再度行う。	点検修理を依頼する。

※以上の事項をご確認の上、それでも不都合な場合、あるいはご不明な点がある場合は、お買い上げの販売店に保証書を添えて点検・修理をご依頼ください。

アフターサービス

- お買い上げいただきました製品には万全を期しておりますが、万一不備な点がございましたらお買い上げの販売店、もしくは下記までご連絡ください。



コールマンジャパン株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー フリーダイヤル 0120-111-957